

英語科学習指導案

鹿児島県立古仁屋高等学校
教諭 藏 明 広

- 1 日 時 平成 28 年 12 月 13 日 火曜日 2 限目
- 2 対 象 2 年進学コース 習熟度編成クラス (男子 3 名, 女子 8 名, 計 11 名)
- 3 場 所 2 年 1 組教室
- 4 生徒観

進学コース在籍生徒のうち、習熟度上位クラスの生徒である。進路希望がまだ定かではない生徒が多く、物静かではあるが、男女仲良く、コツコツ努力をしながら日々勉強に取り組んでいる。毎回課される単語テストにはほぼ全員が毎回合格点をとるなど、語彙力強化に意欲的に取り組んでいる。また、授業時には、周囲の生徒と協力し合って課題に取り組む姿勢がある。しかし、語彙や文法事項など覚えたことを論理的に用いて結論を導き出すことには、苦手意識を持っている生徒が少なくない。また、自ら導いた結論に自信が持たずに、その結論を提示することを躊躇してしまう場面もときに見られる。

- 5 科目名 コミュニケーション英語 II
- 6 単 元 MY WAY English Communication II (SANSEIDO)
Lesson 5 “Eye Contact”

7 本単元の指導目標

1. デフリンピックやろう者サッカーの選手たちを通して、アイコンタクトの大切さを理解する。
2. 本課の内容について、英問英答をしたり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。
3. 各段落の最初の文を読み、その後の文章の展開を予想することができる。
4. 意味のまとまりを意識しながら、相手に伝わるように音読することができる。
5. アイコンタクトの重要性について、自分の考えを述べることができる。
6. 関係代名詞及び関係副詞の各用法を理解し、実際に使用することができる。

8 指導計画

時	内容
第 1 時	Section 1 の読解 (p.66) ←本時
第 2 時	Section 2 の読解① (p.68~69)
第 3 時	Section 2 の読解② (p.68~69)
第 4 時	Section 3 の読解① (p.70~71)
第 5 時	Section 3 の読解② (p.70~71)

第6時	Section 4 の読解① (p.72~73)
第7時	Section 4 の読解② (p.72~73)
第8時	Comprehension & Exercises (p.74~75)

9 本時の目標及び評価規準

(1) 目標

1. デフリンピックやろう者サッカーについて、周囲と協力しながら理解しようとする。
2. 関係代名詞を含む文構造が正しく把握でき、正しく読めるようになる。
3. Deaf soccer のルールを把握することができる。
4. Deaf soccer をするうえで、何が大切か、筆者の考えを読み取ることができる。

(2) 評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
デフリンピックやろう者サッカーについて、周囲と協力しながら理解しようとする。	聞いたり読んだりした内容について、その概要や自分の考えを相手に伝えることができる。	各段落の最初の文を読み、その後の文章の展開を予想することができる。	関係代名詞の働きを理解し、文構造が正しく把握でき、文意が理解できる。

10 本時の展開

過程 (時間)	生徒の活動	教師の活動
Greeting (1)	挨拶をする。	挨拶をする
Warm-up (15)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単語テストを解答する。 ・ 次回の単語テストの範囲を1人1単語ずつ発音し、それに続けて他の生徒はリピートする。 ・ 教科書新出単語の意味を確認し、発音練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単語テストを板書する。 ・ 生徒が正しく発音できない場合、発音し直し、全体にリピートさせる。 ・ 新出語句を発音し、その意味を生徒に示す。確認が済んだら、発音練習をさせる。

<p>Comprehension (32)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書は開かずに，教師の質問に答える。 ・CD を聞き，デフリンピックとは何かを聴き取り，周りの生徒と答えを確認する。 ・教科書を開き，第1段落から，デフリンピックとは何かを読み取り，自分自身の答えをノートに記す。 ・本文がどの競技に関して述べていきそうか，理由も含めて考える。 ・Deaf soccer のルールを本文から読み取り，ノートに記す。 ・Deaf soccer をするうえで大切なことは何かを考え，周りの生徒と考えを共有する。 ・本文から，Deaf soccer をするうえで大切なことは何かを読み取り，答えとなる英文に鉛筆で下線を引く。 ・周囲の生徒と答えの確認をする。全体で答えの確認をし，教科書の該当部分にマーカーで線を引く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デフリンピックについて聞いたことがあるか尋ねる。 ・第1段落のみ CD を流す。流し終わったら，生徒同士で答えの確認をさせる。 ・答えの根拠となる英文を板書し，文構造の把握の仕方を含めて，意味を確認する。 ・デフリンピックのなかでどの競技に関して本文は述べていきそうか尋ね，生徒同士で考えを共有させる。 ・第2段落の第1文を板書し，Deaf soccer のルールを尋ね，それを各自ノートに記させる。全体で答えを確認する。 ・Deaf soccer をするうえで大切なことは何かを考えさせる。生徒同士の確認後，クラス全体で考えをいくつかを共有する。 ・筆者は何が大切と述べているか，答えとなる英文に鉛筆で下線を引かせる。 ・答えの確認を周囲，そして全体の順で行い，教科書の該当部分にマーカーで線を引かせる。
<p>Consolidation (2)</p>	<p>なぜ，筆者は eye contact が大切であると述べているのか，このレッスンを通して読み取るべきポイント確認する。</p>	<p>なぜ，筆者は eye contact が大切であると述べているのかを尋ね，このレッスンを通して読み取るべきポイント確認させる。</p>